

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

山都町中学高校生人権講演会「命の大切さを学ぶ教室」

10月24日(火) 矢部高等学校
体育館において山都町中学高校
生人権講演会「命の大切さを
学ぶ教室」が開催されました。

この講演会は、山都町が熊本
県警察本部と共催で、犯罪のな
い社会を希求する心や人権の根
源である「命の尊さ」について
学び、規範意識や人権意識の育
成を図るため開催するもので、
3年目を迎えました。

今回の講演会では、NPO法
人おかやま犯罪被害者サポート
ファミリーズ理事である市原千
代子さんをお迎えし、「子ども
たちを被害者にも加害者にもし
ないために」を演
題に講演をしてい
ただきました。

市原さんは、息
子を同級生や先輩
の3人による集団
暴行で亡くされ、
その当時の状況や



講師 市原千代子さん



謝辞を述べる田中杏奈さん

思いについて話されました。
また、参加者に「今が辛くて
も命を大切にしてください。ま
た、被害者にも加害者にもなら
ないよう元気に生き抜いてくだ
さい。」と訴えられました。
参加した生徒も真剣なまなざ
しで、市原さんの講演に耳を傾
けていました。
生徒を代表して矢部高等学校
普通科の田中杏奈さんが、「何
気ない言葉が人をいじめること
があることに気づかされた。本
日の講演をこれからの生活にい
かしていかうと思う。」と謝辞
を述べました。

山都町PTA連絡協
議会研修会

10月25日(水) 矢部保健福祉
センター千寿苑において山都町
PTA連絡協議会研修会が開催
されました。

今回の講演会には、教育アド
バイザーの下地敏雄さんをお迎
えし、「夢と人」を親としての、
子どもの接し方を演題に、講
演をしていただきました。

講演で、下地先生は、「子育
てに法則はない。子育ては難問
である。悩むことはある。そん
なとき自分の経験と重ねながら
子育てをして欲しい。」と話さ
れました。

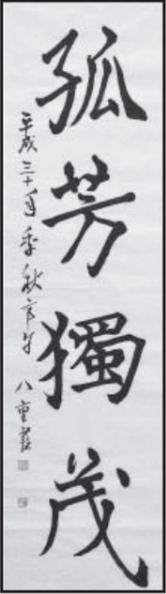
子育て世代である参加者は、
下地先生のユーモアを交えた軽
妙な語り口に、時には笑い、ま
た真剣なまなざしで耳を傾けて
いました。



講師 下地敏雄さん

書道

和光教室書道部



佐野 八重子さん(川口) 作

季節のうた

馬見原醉山会

少年の顔して飛ばす蒲のわた
冬近し帰らぬ猫の餌を買ふ
来年は作れるかしら稲を刈る
岩水 周子

やまなみの会「山脈」

夜なべには俵編んだり縄を繰ふ
空を翔け名残りを惜しむ秋つばめ
貝細工みやげに買ひぬ秋の旅
草樹 萌
紅葉萎き大好む花だつた今宵も空からながめ居るかも
木下スエオ
夕ぐれに何時ものやもりが窓ガラス親子連れにてそそ歩きす
本田 七郎
鱗雲天空いっばいひろがりて待ちに待ちたる秋空仰ぐ
今村 芳子

通潤句会

地図の旅大秋晴にひろげをり
村上 園江
寺坂の人を押し上ぐ彼岸花
西田 えい子
山脈に雲遊ばせて秋の来る
田中 かつみ

清和短歌会

防獣柵のびる畦道彼岸花咲きてしばしの安らぎ覚ゆ
渡邊 民生
明けきらぬ朝をしきりに鳴く蟬の一期の声を足止めて聞く
藤本 於蓮
首すくめ過ぎゆく台風をやりすす稲粟とまと無事を祈りつ
兼瀬 哲治

山都町の人口

[平成 29 年 10 月 31 日現在]

男	7,464人 (0)
女	8,035人 (-2)
計	15,499人 (-2)
世帯	6,580戸 (0)

※ () は前月比
※最高齢は 107 歳 [女性 1 人]
※平成 29 年 10 月の出生者数 12 人
※平成 29 年 10 月の死亡者数 15 人

編集後記

棚田の撮影に町内をまわった際、
カラスが熟れた柿をくわえて田んぼ
の上を飛んでいっているところを見
ました。黄金色の田んぼに真っ赤な
柿と真っ黒なカラスのコントラスト
が綺麗で、カメラを構えていなかっ
たこと、とても悔やみました。

さて、朝晩の冷え込みも厳しくな
り、木の葉が赤や黄色に少しずつ色
つき始めました。山歩きなどのアウト
ドアにはめっきり弱い私ですが、
紅葉した山々の風景を撮りに、思い
きって出かけようと思います。

最近では霜注意報も出るようにな
りました。農作物の管理、そして体
調の管理には十分お気をつけくだ
さい。(坂本)

山の都地域しごとセンター通信 vol.2



山都町への移住定住を促進す
るための啓発ポスター(2種類)
が完成しました!

山都町での豊かな暮らしが想
像できるあたたかな仕上がりとな
っています。

第1弾はH22年に関東から移
住された小坂さん一家。

尾野尻(清和地区)で「みず
たまカフェ」を営みながら、チ
ラシやパンフレット製作を請負
うデザイン事務所も経営されて
います。

第56回 熊本県童話発表大会

清和小学校6年 石井智大君 最優秀賞受賞

熊本県ナンバー1

10月7日(土) 熊本市植木文化センターで第56回熊
本県童話発表大会が開催され、熊本県各都市で行われた童
話発表大会で最優秀賞に選ばれた児童23名が参加しまし
た。上益城郡代表で清和小学校6年石井智大君が「きつね
によぼう」(長谷川摂子/再話)を発表し、最優秀賞に
選ばれました。

審査委員からは「美しい日本語でくせもなく、語尾がと
てもきれい。その音色は客席の人みんなの心にひびきまし
た。」と評価をいただきました。

今回の受賞について、石井君は「ステージに立った時は
とても緊張しました。最優秀賞がとれた時はとてもうれし
かったです。支えてもらったみなさんには感謝の気持ちで
いっぱいです。」と感想を述べました。

